

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍により、むやみやたらに外出できない現状。外部との交流が減り、閉鎖的に感じる日々。家族、知人との面会も制限がある中、どのようにしてボランティアの方に来ていただくか、どのタイミングで緩和するか要検討。	四季に応じた洋服を着て、四季を感じられるように外の空気に触れる機会を作る。外に出ることにより、近隣の方々と他愛ない会話をしたり、スタッフ、入居者の顔を認知して頂く。ボランティアの方に来て頂き、平坦な日々を活気を。	マスクなど感染対策をし、withコロナとマインドをかえる。春には積極的に近隣への散歩から再開。ボランティア受け入れ体制として、少人数のボランティアさんから受け入れし、徐々に開かれた施設に戻せるよう努める。	6ヶ月
2	35	災害時用の備蓄品はあり、数日分の食料は確保されているが、停電時による暑さ、寒さ対策が、日ごろの訓練時では不足しがち。	ライフラインが途絶えた際に、各フロアスタッフが協力し合い、慌てず立ち回ることができる事が理想。	備蓄品保管場所を案内。ポータブル電源を購入検討。災害によるライフライン遮断時のマニュアル作成。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月